

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	有明工業高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
	機械工学科				9	9	7	
	電気工学科				10	10	7	
	電子情報工学科				8	8	7	
	物質工学科				8	8	7	
	建築学科				10	10	7	
	創造工学科エネルギーコース				7	7	7	
	創造工学科応用化学コース				14	14	7	
	創造工学科環境生命コース				13	13	7	
	創造工学科メカニクスコース				8	8	7	
	創造工学科情報システムコース				8	8	7	
	創造工学科建築コース				12	12	7	
	生産情報システム工学専攻				14	14	7	
	応用物質工学専攻				16	16	7	
	建築学専攻				18	18	7	

(備考)

機械工学科、電気工学科、電子情報工学科、物質工学科、建築学科については、2016年度から募集停止している。学生の募集を停止している学科については、従前の教育

課程に基づき、授業科目の単位数を記載している。
創造工学科については、2020年度が完成年度となるため、完成年度までの設置計画に基づき、授業科目の単位数を記載している。

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicDepartments?school_id=44

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	有明工業高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.kosen-k.go.jp/about/release/index.html#yakuinmeibo>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	熊本大学長	平成28年4月1日～ 令和6年3月31日	理事長
常勤	東京工業大学 理事・副学長	平成30年4月1日～ 令和2年3月31日	研究・産学連携 情報システム
非常勤	東京大学教授	平成26年4月1日～ 令和2年3月31日	男女共同参画推進
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	有明工業高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 年末頃から、各教科担当教員が Web 上にてシラバスに掲載する事項(到達目標、ルーブリック、教育方法、授業計画、評価割合)を記入する。入力完了後に教務委員会にて確認の上、新年度開始と同時に Web 上で公表する。	
授業計画書の公表方法	https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicDepartments?school_id=44
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 「有明工業高等専門学校学業成績の評価並びに進級に関する規程」に則り、シラバスにて公表している授業内容・方法(講義の内容や課題の有無等)及び評価割合(試験や発表、ポートフォリオ等)に基づき、厳格かつ適正に学習成果を評価し、単位授与を行っている。	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 学業成績は、シラバスに基づき、定期試験の成績ならびに平常成績等を総合的に考慮し、100点法をもって評価している。</p> <p>(創造工学科における客観的な成績指標の設定) 授業科目の成績を以下のとおりG P (Grade Point) に換算し、これを受講した全授業科目について単純平均した値をG P A (Grade Point Average) として、客観的な指標としている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ G P 「6」 100点～90点 ○ G P 「5」 89点～80点 ○ G P 「4」 79点～70点 ○ G P 「3」 69点～60点 ○ G P 「0」 59点～0点 <p>(機械工学科、電気工学科、電子情報工学科、物質工学科、建築学科及び専攻科における客観的な成績指標の設定) 各授業科目の成績の平均点を客観的な指標としている。</p> <p>(成績分布状況の把握) 上記G P A又は平均点を用い、クラス、学科、コース、専攻ごとに成績分布状況を把握している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>学生便覧 P24 https://www.ariake-nct.ac.jp/wp3/wp-content/uploads/2019/05/H31_gakuseibinran.pdf 専攻科学生便覧 P11 https://www.ariake-nct.ac.jp/wp3/wp-content/uploads/2016/02/H31senkouka-binran.pdf GPA https://www.ariake-nct.ac.jp/students/grade-evaluation</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

ディプロマ・ポリシー及び「有明工業高等専門学校学業成績の評価並びに進級に関する規程」に基づき、本科においては、自然災害・高齢化の進行等、現代の諸課題に柔軟に対応できる次のような技術者の育成を目的とした課程を履修し、その学習・教育到達目標をすべて達成した者の卒業を認定するとともに卒業証書を授与する。

- ・幅広い工学に関する基礎知識と主体性を身につけた技術者
- ・専門工学に関する高度な知識と創造性に富み、実践力を身につけた技術者
- ・自己啓発・向上能力に富み、「ものづくり」を通じて社会の発展に貢献できる技術者
- ・多様な価値観を理解し、学際的な技術分野で活躍できる技術者
- ・国際社会で活躍できる広い視野と教養をもつ技術者

卒業の要件は、全課程の修了（一般科目 75 単位以上、専門科目 82 単位以上、計 167 単位以上の単位修得）であり、卒業判定会議の審議を経て、校長が課程修了を認定する。

また、ディプロマ・ポリシー及び「有明工業高等専門学校専攻科の授業科目の履修等に関する規程」に基づき、専攻科においては、次のような創造性、多様性、学際性、国際性に富んだ高度な実践的職業技術者の育成を目的とした、専攻科の全課程を修了した人に対し、修了証書を授与する。

- ・物事を多面的に考察できる力、社会における技術者の責任を自覚できる高い倫理観、および優れたコミュニケーション能力を備えた高度な技術者
- ・工学の基礎知識、工学の専門知識および高度に融合された学際的知識を有し、実践力に富む高度な技術者
- ・課題の探求能力に優れ、またその課題を解決する方法を提案できる高度な技術者

また、修了の要件は、以下のとおりで、修了判定会議の議を経て、校長が修了の認定を行う。

- ・学習・教育到達目標を全て達成していること
- ・専攻科の必修科目を全て修得していること
- ・専攻科の必修科目と選択科目を併せて 62 単位以上を修得していること
- ・原則として研究成果を学外に発表すること

卒業の認定に関する 方針の公表方法	学生便覧 P24 https://www.ariake-nct.ac.jp/wp3/wp-content/uploads/2019/05/H31_gakuseibinran.pdf 専攻科学生便覧 P11 https://www.ariake-nct.ac.jp/wp3/wp-content/uploads/2016/02/H31senkouka-binran.pdf ディプロマ・ポリシー https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutnct/3policy
----------------------	--

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	有明工業高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/documents/zaimusyohyoH29.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/documents/zaimusyohyoH29.pdf
財産目録	
事業報告書	https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/information/H29jigyohokokusho1.pdf
監事による監査報告(書)	https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/information/kanjiikenH30.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:独立行政法人国立高等専門学校機構の年度計画 対象年度:平成31年度(2019年度))
公表方法: https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/information/nendo-h31.pdf
中長期計画(名称:独立行政法人国立高等専門学校機構の中期計画 対象年度:平成31年(2019年)4月1日から令和6年(2024年)3月31日まで)
公表方法: https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/information/chuukikeikaku-4th.pdf

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.ariake-nct.ac.jp/disclosure/inspection
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: https://www.ariake-nct.ac.jp/disclosure/evaluation-results
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 機械工学科
教育研究上の目的 (公表方法： https://www.ariake-nct.ac.jp/department/mechanical-engineering) (概要) (1) 機械工学及びその関連分野において、様々な問題を論理的に分析し自分の力で解決できる能力を持った技術者の育成 (2) 倫理観を持ち技術が社会や自然に及ぼす影響や効果に関する理解と創造的ものづくりができる能力を持った技術者の育成 (3) 常に向上心を持ち高い目標へ挑戦できる能力を持った技術者の育成
卒業の認定に関する方針 (公表方法： https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy) (概要) 自然災害・高齢化の進行等、現代の諸課題に柔軟に対応できる次のような技術者の育成を目的とした課程を履修し、その学習・教育到達目標をすべて達成した者の卒業を認定するとともに卒業証書を授与する。 ・幅広い工学に関する基礎知識と主体性を身につけた技術者 ・専門工学に関する高度な知識と創造性に富み、実践力を身につけた技術者 ・自己啓発・向上能力に富み、「ものづくり」を通じて社会の発展に貢献できる技術者 ・多様な価値観を理解し、学際的な技術分野で活躍できる技術者 ・国際社会で活躍できる広い視野と教養をもつ技術者
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/curriculum-data https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy) (概要) (1)1・2 年次を低学年と位置づけ、豊かな教養の学習と共に、工学・技術全般に亘る動機づけを行いつつ、工学・技術共通の基礎に重きを置いた教育を行う。 このために、有明高専独自の方式の混合学級制をとる。 (2)3・4・5 年次を高学年と位置づけ、3 年次においては、工学・技術の各専門分野に対する動機づけを行うと共に、英語・数学・理科等の一般基礎教育科目についての低学年での修得成果を基盤に、技術者としての実践的な理解・思考・発言能力の学習を行いつつ、各専門分野の基礎を教育する。 4・5 年次では、各専門分野の基礎の系統的な学習を行うと共に、実践的な技術力を教育する。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法： https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy) (概要) (1)機械(もの)の仕組みや働きに興味があり、さらに勉強したいと思っている人 (2)ものづくりが好きで、自分のアイデアでものを作ってみたいと思っている人 (3)人のために役に立ち、地球や社会に優しいものづくりに関心のある人

学部等名 電気工学科
<p>教育研究上の目的</p> <p>(公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/department/electrical-engineering)</p> <p>(概要)</p> <p>(1) 基礎学力に育まれた豊かな創造性と電気電子工学から情報工学までの幅広い専門知識により、新しい技術や課題に柔軟に対応できる能力を有する人材の育成</p> <p>(2) エネルギー問題や環境問題など現代社会の抱えるさまざまな課題に対して、これらを正しく評価できる分析能力と問題解決能力を有する人材の育成</p> <p>(3) 人間社会における技術のあり方を深く理解し、環境にやさしい電気電子情報技術を積極的に開拓するという向上心と倫理観を有する人材の育成</p>
<p>卒業の認定に関する方針</p> <p>(公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)</p> <p>(概要)</p> <p>自然災害・高齢化の進行等、現代の諸課題に柔軟に対応できる次のような技術者の育成を目的とした課程を履修し、その学習・教育到達目標をすべて達成した者の卒業を認定するとともに卒業証書を授与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い工学に関する基礎知識と主体性を身につけた技術者 ・専門工学に関する高度な知識と創造性に富み、実践力を身につけた技術者 ・自己啓発・向上能力に富み、「ものづくり」を通じて社会の発展に貢献できる技術者 ・多様な価値観を理解し、学際的な技術分野で活躍できる技術者 ・国際社会で活躍できる広い視野と教養をもつ技術者
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針</p> <p>(公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/curriculum-data https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)</p> <p>(概要)</p> <p>(1) 1・2年次を低学年と位置づけ、豊かな教養の学習と共に、工学・技術全般に亘る動機づけを行いつつ、工学・技術共通の基礎に重きを置いた教育を行う。 このために、有明高専独自の方式の混合学級制をとる。</p> <p>(2) 3・4・5年次を高学年と位置づけ、3年次においては、工学・技術の各専門分野に対する動機づけを行うと共に、英語・数学・理科等の一般基礎教育科目についての低学年での修得成果を基盤に、技術者としての実践的な理解・思考・発言能力の学習を行いつつ、各専門分野の基礎を教育する。 4・5年次では、各専門分野の基礎の系統的な学習を行うと共に、実践的な技術力を教育する。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針</p> <p>(公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)</p> <p>(概要)</p> <p>(1) 電気や磁気に関係するさまざまな現象に興味を持ち、積極的に勉強する意欲がある人</p> <p>(2) 実験や工作に興味を持ち、人と協力してものごとに取り組むことができる人</p> <p>(3) エネルギーや環境問題に関心を持ち、技術を介して社会に貢献する意志がある人</p>

学部等名 電子情報工学科
教育研究上の目的 (公表方法： https://www.ariake-nct.ac.jp/department/electronics-information)
(概要) (1) 社会を支える情報通信技術を維持・発展させるための電子工学・情報工学の専門知識を総合的に身につけた人材の育成 (2) 電子工学・情報工学分野における多様な課題に対する分析能力と問題解決能力を有する人材の育成 (3) 豊かな創造力と技術者としての高い倫理観を有する人材の育成
卒業の認定に関する方針 (公表方法： https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)
(概要) 自然災害・高齢化の進行等、現代の諸課題に柔軟に対応できる次のような技術者の育成を目的とした課程を履修し、その学習・教育到達目標をすべて達成した者の卒業を認定するとともに卒業証書を授与する。 <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い工学に関する基礎知識と主体性を身につけた技術者 ・専門工学に関する高度な知識と創造性に富み、実践力を身につけた技術者 ・自己啓発・向上能力に富み、「ものづくり」を通じて社会の発展に貢献できる技術者 ・多様な価値観を理解し、学際的な技術分野で活躍できる技術者 ・国際社会で活躍できる広い視野と教養をもつ技術者
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/curriculum-data https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)
(概要) (1) 1・2 年次を低学年と位置づけ、豊かな教養の学習と共に、工学・技術全般に亘る動機づけを行いつつ、工学・技術共通の基礎に重きを置いた教育を行う。 このために、有明高専独自の方式の混合学級制をとる。 (2) 3・4・5 年次を高学年と位置づけ、3 年次においては、工学・技術の各専門分野に対する動機づけを行うと共に、英語・数学・理科等の一般基礎教育科目についての低学年での修得成果を基盤に、技術者としての実践的な理解・思考・発言能力の学習を行いつつ、各専門分野の基礎を教育する。 4・5 年次では、各専門分野の基礎の系統的な学習を行うと共に、実践的な技術力を教育する。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法： https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)
(概要) (1) コンピュータや携帯電話を動かす原理や仕組みに興味や関心のある人 (2) 数学や理科や語学が好きで、自発的に努力できる人 (3) 将来、いろいろな作業をコンピュータにさせる仕事をしたい人

学部等名 物質工学科
<p>教育研究上の目的</p> <p>(公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/department/chemical-science)</p> <p>(概要)</p> <p>(1)化学、生物に関する基礎的・専門的知識の習得により、新しい技術と課題に対応できる能力をもつ技術者の育成</p> <p>(2)様々な問題を論理的に解析し、その問題を解決できる能力を持つ技術者の育成</p> <p>(3)現場での実践的コミュニケーション能力を持つ技術者の育成</p>
<p>卒業の認定に関する方針</p> <p>(公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)</p> <p>(概要)</p> <p>自然災害・高齢化の進行等、現代の諸課題に柔軟に対応できる次のような技術者の育成を目的とした課程を履修し、その学習・教育到達目標をすべて達成した者の卒業を認定するとともに卒業証書を授与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い工学に関する基礎知識と主体性を身につけた技術者 ・専門工学に関する高度な知識と創造性に富み、実践力を身につけた技術者 ・自己啓発・向上能力に富み、「ものづくり」を通じて社会の発展に貢献できる技術者 ・多様な価値観を理解し、学際的な技術分野で活躍できる技術者 ・国際社会で活躍できる広い視野と教養をもつ技術者
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針</p> <p>(公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/curriculum-data https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)</p> <p>(概要)</p> <p>(1)1・2年次を低学年と位置づけ、豊かな教養の学習と共に、工学・技術全般に亘る動機づけを行いつつ、工学・技術共通の基礎に重きを置いた教育を行う。 このために、有明高専独自の方式の混合学級制をとる。</p> <p>(2)3・4・5年次を高学年と位置づけ、3年次においては、工学・技術の各専門分野に対する動機づけを行うと共に、英語・数学・理科等の一般基礎教育科目についての低学年での修得成果を基盤に、技術者としての実践的な理解・思考・発言能力の学習を行いつつ、各専門分野の基礎を教育する。</p> <p>4・5年次では、各専門分野の基礎の系統的な学習を行うと共に、実践的な技術力を教育する。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針</p> <p>(公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)</p> <p>(概要)</p> <p>(1)数学や理科への勉学の意欲が高く、実験が好きな人</p> <p>(2)さまざまなことがらに科学的な興味をもつことができる人</p> <p>(3)学習目標を達成する強い意志を有している人</p>

学部等名 建築学科
<p>教育研究上の目的 (公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/department/architecture)</p>
<p>(概要) (1)多様化する建築界において新しい技術や課題に対応するための基礎学力と幅広い専門知識を有する人材の育成 (2)人間の生活環境を豊かにするための創造力や社会で直面するさまざまな課題を解決する総合力・問題解決能力を有する人材の育成 (3)建築に対する興味や技術的関心、倫理観や向上心と自立心に支えられた建築技術者としての資質を持った人材の育成</p>
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)</p>
<p>(概要) 自然災害・高齢化の進行等、現代の諸課題に柔軟に対応できる次のような技術者の育成を目的とした課程を履修し、その学習・教育到達目標をすべて達成した者の卒業を認定するとともに卒業証書を授与する。 ・幅広い工学に関する基礎知識と主体性を身につけた技術者 ・専門工学に関する高度な知識と創造性に富み、実践力を身につけた技術者 ・自己啓発・向上能力に富み、「ものづくり」を通じて社会の発展に貢献できる技術者 ・多様な価値観を理解し、学際的な技術分野で活躍できる技術者 ・国際社会で活躍できる広い視野と教養をもつ技術者</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/curriculum-data https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)</p>
<p>(概要) (1)1・2年次を低学年と位置づけ、豊かな教養の学習と共に、工学・技術全般に亘る動機づけを行いつつ、工学・技術共通の基礎に重きを置いた教育を行う。 このために、有明高専独自の方式の混合学級制をとる。 (2)3・4・5年次を高学年と位置づけ、3年次においては、工学・技術の各専門分野に対する動機づけを行うと共に、英語・数学・理科等の一般基礎教育科目についての低学年での修得成果を基盤に、技術者としての実践的な理解・思考・発言能力の学習を行いつつ、各専門分野の基礎を教育する。 4・5年次では、各専門分野の基礎の系統的な学習を行うと共に、実践的な技術力を教育する。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)</p>
<p>(概要) (1)数学や理科はもちろんのこと社会や芸術など、いろんな分野に興味を持ち、勉強している人 (2)家づくりやまちづくりに興味を持っている人 (3)建築の仕事をとおして、社会に貢献しようと考えている人</p>

学部等名 創造工学科・エネルギーコース
教育研究上の目的 (公表方法： https://www.ariake-nct.ac.jp/department/energy)
(概要) (1)エネルギー関連工学に関する基礎学力及び基礎技術力を持つ技術者の育成 (2)エネルギーの発生・変換に関する知識と技術を駆使し、持続可能な社会を築くために貢献できる実践的技術者の育成 (3)エネルギー生産と消費の現状に関する知識を身に付け、エネルギー問題などの世界的社会ニーズに対応できる技術者の育成
卒業の認定に関する方針 (公表方法： https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)
(概要) 自然災害・高齢化の進行等、現代の諸課題に柔軟に対応できる次のような技術者の育成を目的とした課程を履修し、その学習・教育到達目標をすべて達成した者の卒業を認定するとともに卒業証書を授与する。 ・幅広い工学に関する基礎知識と主体性を身につけた技術者 ・専門工学に関する高度な知識と創造性に富み、実践力を身につけた技術者 ・自己啓発・工場能力に富み、「ものづくり」を通じて社会の発展に貢献できる技術者 ・多様な価値観を理解し、学際的な技術分野で活躍できる技術者 ・国際社会で活躍できる広い視野と教養をもつ技術者
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/curriculum-data https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)
(概要) (1)1年次と2年次は、一般教育科目/工学基礎科目で構成された共通カリキュラム (2)2年次後期より、2系6コースに分かれ、各コースの専門教育科目を開始 (3)専門教育科目には、系共通科目と、コース専門科目を設置 (4)コース専門科目には、専門基礎科目のほか、自ら能動的に、他の人と協力して課題解決に取り組む本校独自の創造実践型の科目を設置 (5)一般教育科目として、社会、国語、外国語などの人文・社会科学系科目や、数学、物理、化学などの自然科学系科目を全学年にわたって設置 (6)4年次後期から5年次にかけて、まとめ科目として卒業研究を設置
入学者の受入れに関する方針 (公表方法： https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy https://www.ariake-nct.ac.jp/department/energy)
(概要) (1)さまざまな自然現象に興味をもち、積極的に勉強する意欲がある人 (2)実験や工作に興味をもち、人と協力してものごとに取り組むことができる人 (3)エネルギーや環境問題に関心をもち、技術を介して社会に貢献する意志がある人

学部等名 創造工学科・応用化学コース
<p>教育研究上の目的</p> <p>(公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/department/applied-chemistry)</p> <p>(概要)</p> <p>(1) 応用化学に関する基礎学力および基礎技術力を持つ技術者の育成</p> <p>(2) 自然環境の諸課題に対する化学の役割を認識し、これらの解決に貢献できる実践的技術者の育成</p> <p>(3) 化学に関連する幅広い工学基礎知識を身に付け、環境問題などの地球規模の社会ニーズに対応できる技術者の育成</p>
<p>卒業の認定に関する方針</p> <p>(公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)</p> <p>(概要)</p> <p>自然災害・高齢化の進行等、現代の諸課題に柔軟に対応できる次のような技術者の育成を目的とした課程を履修し、その学習・教育到達目標をすべて達成した者の卒業を認定するとともに卒業証書を授与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い工学に関する基礎知識と主体性を身につけた技術者 ・専門工学に関する高度な知識と創造性に富み、実践力を身につけた技術者 ・自己啓発・工場能力に富み、「ものづくり」を通じて社会の発展に貢献できる技術者 ・多様な価値観を理解し、学際的な技術分野で活躍できる技術者 ・国際社会で活躍できる広い視野と教養をもつ技術者
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針</p> <p>(公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/curriculum-data https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)</p> <p>(概要)</p> <p>(1) 1年次と2年次は、一般教育科目/工学基礎科目で構成された共通カリキュラム</p> <p>(2) 2年次後期より、2系6コースに分かれ、各コースの専門教育科目を開始</p> <p>(3) 専門教育科目には、系共通科目と、コース専門科目を設置</p> <p>(4) コース専門科目には、専門基礎科目のほか、自ら能動的に、他の人と協力して課題解決に取り組む本校独自の創造実践型の科目を設置</p> <p>(5) 一般教育科目として、社会、国語、外国語などの人文・社会科学系科目や、数学、物理、化学などの自然科学系科目を全学年にわたって設置</p> <p>(6) 4年次後期から5年次にかけて、まとめ科目として卒業研究を設置</p>
<p>入学者の受入れに関する方針</p> <p>(公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy https://www.ariake-nct.ac.jp/department/applied-chemistry)</p> <p>(概要)</p> <p>(1) 他の人の考えを聴き、自分の考えを表現できる能力の向上に意欲がある</p> <p>(2) 他の人と協力して長時間の実験にも集中して根気強く取り組むことができる人</p> <p>(3) 基本的な生活習慣が身についている人</p>

<p>学部等名 創造工学科・環境生命コース</p>
<p>教育研究上の目的 (公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/department/life-environmental)</p>
<p>(概要) (1)環境工学や生命工学に関する基礎学力及び基礎技術力を持つ技術者の育成 (2)生体分子及び生命現象を理解し、その知識を利用することで様々な地球環境問題に貢献できる実践的技術者の育成 (3)環境や生命に関連する幅広い工学基礎知識を身に付け、食糧問題などの多様化する社会ニーズに対応できる技術者の育成</p>
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)</p>
<p>(概要) 自然災害・高齢化の進行等、現代の諸課題に柔軟に対応できる次のような技術者の育成を目的とした課程を履修し、その学習・教育到達目標をすべて達成した者の卒業を認定するとともに卒業証書を授与する。 ・幅広い工学に関する基礎知識と主体性を身につけた技術者 ・専門工学に関する高度な知識と創造性に富み、実践力を身につけた技術者 ・自己啓発・工場能力に富み、「ものづくり」を通じて社会の発展に貢献できる技術者 ・多様な価値観を理解し、学際的な技術分野で活躍できる技術者 ・国際社会で活躍できる広い視野と教養をもつ技術者</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/curriculum-data https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)</p>
<p>(概要) (1)1年次と2年次は、一般教育科目/工学基礎科目で構成された共通カリキュラム (2)2年次後期より、2系6コースに分かれ、各コースの専門教育科目を開始 (3)専門教育科目には、系共通科目と、コース専門科目を設置 (4)コース専門科目には、専門基礎科目のほか、自ら能動的に、他の人と協力して課題解決に取り組む本校独自の創造実践型の科目を設置 (5)一般教育科目として、社会、国語、外国語などの人文・社会科学系科目や、数学、物理、化学などの自然科学系科目を全学年にわたって設置 (6)4年次後期から5年次にかけて、まとめ科目として卒業研究を設置</p>
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy https://www.ariake-nct.ac.jp/department/life-environmental)</p>
<p>(概要) (1)生命現象、生物資源や自然環境に関心をもち、自ら粘り強く学習や実験を続ける意志がある人 (2)自分の考えをもち、それを表現でき、さらに人の意見を聴くことのできる協調性がある人 (3)基本的な生活習慣が身についている人</p>

学部等名 創造工学科・メカニクスコース
<p>教育研究上の目的</p> <p>(公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/department/mechanics)</p> <p>(概要)</p> <p>(1)機械工学に関する基礎学力及び基礎技術力を持つ技術者の育成</p> <p>(2)人間社会と知能機械の共存による福祉社会の実現を認識し、インテリジェントな機械技術を駆使して社会に貢献できる実践的技術者の育成</p> <p>(3)機械工学に関連する福祉工学やエレクトロニクスの基礎知識を身に付け、高齢化地域の社会課題に積極的な役割を担える技術者の育成</p>
<p>卒業の認定に関する方針</p> <p>(公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)</p> <p>(概要)</p> <p>自然災害・高齢化の進行等、現代の諸課題に柔軟に対応できる次のような技術者の育成を目的とした課程を履修し、その学習・教育到達目標をすべて達成した者の卒業を認定するとともに卒業証書を授与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い工学に関する基礎知識と主体性を身につけた技術者 ・専門工学に関する高度な知識と創造性に富み、実践力を身につけた技術者 ・自己啓発・工場能力に富み、「ものづくり」を通じて社会の発展に貢献できる技術者 ・多様な価値観を理解し、学際的な技術分野で活躍できる技術者 ・国際社会で活躍できる広い視野と教養をもつ技術者
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針</p> <p>(公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/curriculum-data https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)</p> <p>(概要)</p> <p>(1)1年次と2年次は、一般教育科目/工学基礎科目で構成された共通カリキュラム</p> <p>(2)2年次後期より、2系6コースに分かれ、各コースの専門教育科目を開始</p> <p>(3)専門教育科目には、系共通科目と、コース専門科目を設置</p> <p>(4)コース専門科目には、専門基礎科目のほか、自ら能動的に、他の人と協力して課題解決に取り組む本校独自の創造実践型の科目を設置</p> <p>(5)一般教育科目として、社会、国語、外国語などの人文・社会科学系科目や、数学、物理、化学などの自然科学系科目を全学年にわたって設置</p> <p>(6)4年次後期から5年次にかけて、まとめ科目として卒業研究を設置</p>
<p>入学者の受入れに関する方針</p> <p>(公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy https://www.ariake-nct.ac.jp/department/mechanics)</p> <p>(概要)</p> <p>(1)機械のメカニズムに興味があり、その知識を専門的に身に付けたいと考えている人</p> <p>(2)自らアイデアを出し、科学技術を使ってものづくりをしたいと思っている人</p> <p>(3)地球環境に配慮し、すべての人が豊かに生活できる未来を創造することに 관심이ある人</p>

学部等名 創造工学科・情報システムコース
<p>教育研究上の目的</p> <p>(公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/department/information-system)</p>
<p>(概要)</p> <p>(1)情報システムに関する基礎学力及び基礎技術力を持つ技術者の育成</p> <p>(2)情報システムの構築を通して人々の生活の質の向上に貢献できる実践的技術者の育成</p> <p>(3)情報システムとその周辺分野の知識を身に付け、人間社会の情報通信技術ニーズに対応できる技術者の育成</p>
<p>卒業の認定に関する方針</p> <p>(公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)</p>
<p>(概要)</p> <p>自然災害・高齢化の進行等、現代の諸課題に柔軟に対応できる次のような技術者の育成を目的とした課程を履修し、その学習・教育到達目標をすべて達成した者の卒業を認定するとともに卒業証書を授与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い工学に関する基礎知識と主体性を身につけた技術者 ・専門工学に関する高度な知識と創造性に富み、実践力を身につけた技術者 ・自己啓発・工場能力に富み、「ものづくり」を通じて社会の発展に貢献できる技術者 ・多様な価値観を理解し、学際的な技術分野で活躍できる技術者 ・国際社会で活躍できる広い視野と教養をもつ技術者
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針</p> <p>(公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/curriculum-data https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)</p>
<p>(概要)</p> <p>(1)1年次と2年次は、一般教育科目/工学基礎科目で構成された共通カリキュラム</p> <p>(2)2年次後期より、2系6コースに分かれ、各コースの専門教育科目を開始</p> <p>(3)専門教育科目には、系共通科目と、コース専門科目を設置</p> <p>(4)コース専門科目には、専門基礎科目のほか、自ら能動的に、他の人と協力して課題解決に取り組む本校独自の創造実践型の科目を設置</p> <p>(5)一般教育科目として、社会、国語、外国語などの人文・社会科学系科目や、数学、物理、化学などの自然科学系科目を全学年にわたって設置</p> <p>(6)4年次後期から5年次にかけて、まとめ科目として卒業研究を設置</p>
<p>入学者の受入れに関する方針</p> <p>(公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy https://www.ariake-nct.ac.jp/department/information-system)</p>
<p>(概要)</p> <p>(1)数学や理科や語学が好きで、自発的に努力ができる人</p> <p>(2)コンピュータやスマートフォンなどの情報通信機器の仕組みに興味がある人</p> <p>(3)情報システムを人々の役に立たせたいと考えている人</p>

学部等名 創造工学科・建築コース
<p>教育研究上の目的</p> <p>(公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/department/architecture-course)</p>
<p>(概要)</p> <p>(1) 建築に関する基礎学力及び基礎技術力を持つ技術者の育成</p> <p>(2) 建築学と人間社会の関連を認識し、安全で、豊かで、魅力的な人々の生活環境を創造することに貢献できる実践的技術者の育成</p> <p>(3) 建築学と関連工学分野の知識を身に付け、都市問題などの地域社会ニーズに対応できる技術者の育成</p>
<p>卒業の認定に関する方針</p> <p>(公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)</p>
<p>(概要)</p> <p>自然災害・高齢化の進行等、現代の諸課題に柔軟に対応できる次のような技術者の育成を目的とした課程を履修し、その学習・教育到達目標をすべて達成した者の卒業を認定するとともに卒業証書を授与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い工学に関する基礎知識と主体性を身につけた技術者 ・専門工学に関する高度な知識と創造性に富み、実践力を身につけた技術者 ・自己啓発・工場能力に富み、「ものづくり」を通じて社会の発展に貢献できる技術者 ・多様な価値観を理解し、学際的な技術分野で活躍できる技術者 ・国際社会で活躍できる広い視野と教養をもつ技術者
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針</p> <p>(公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/curriculum-data https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)</p>
<p>(概要)</p> <p>(1) 1年次と2年次は、一般教育科目/工学基礎科目で構成された共通カリキュラム</p> <p>(2) 2年次後期より、2系6コースに分かれ、各コースの専門教育科目を開始</p> <p>(3) 専門教育科目には、系共通科目と、コース専門科目を設置</p> <p>(4) コース専門科目には、専門基礎科目のほか、自ら能動的に、他の人と協力して課題解決に取り組む本校独自の創造実践型の科目を設置</p> <p>(5) 一般教育科目として、社会、国語、外国語などの人文・社会科学系科目や、数学、物理、化学などの自然科学系科目を全学年にわたって設置</p> <p>(6) 4年次後期から5年次にかけて、まとめ科目として卒業研究を設置</p>
<p>入学者の受入れに関する方針</p> <p>(公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy https://www.ariake-nct.ac.jp/department/architecture-course)</p>
<p>(概要)</p> <p>(1) 数学や理科はもちろんのこと、社会や芸術などいろいろな分野に興味をもち、勉強している人</p> <p>(2) 家づくりやまちづくりに興味をもっている人</p> <p>(3) 建築の仕事をとおして、社会に貢献しようと考えている人</p>

<p>学部等名 生産情報システム工学専攻</p>
<p>教育研究上の目的 (公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/department/advanced-engineering)</p>
<p>(概要) (1)高度科学技術社会、国際的なエネルギー問題、環境問題に対応できる論理的思考能力と解決能力を備えた実践的技術者の育成 (2)準学士課程での機械、電気、情報工学の基礎的な知識と技術を基に、より高度に融合された機械・電気・情報分野の幅広い専門科目を修得した学際性を備えた実践的技術者の育成 (3)高い倫理観を持ち、幅広い視野と国際性を備えた実践的技術者の育成</p>
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)</p>
<p>(概要) 次のような創造性、多様性、学際性、国際性に富んだ高度な実践的職業技術者の育成を目的とした、専攻科の全課程を修了した人に対し、修了証書を授与する。 (1)物事を多面的に考察できる力、社会における技術者の責任を自覚できる高い倫理観、および優れたコミュニケーション能力を備えた高度な技術者 (2)工学の基礎知識、工学の専門知識および高度に融合された学際的知識を有し、実践力に富む高度な技術者 (3)課題の探究能力に優れ、またその課題を解決する方法を提案できる高度な技術者</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/curriculum-data https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)</p>
<p>(概要) (1)豊かな教養と多面的な考察力を身につけるため、技術者倫理を含む一般科目を設置 (2)優れたコミュニケーション能力を身につけるため、日本語や外国語の科目のほか、その能力を実践的に訓練する分野横断的なPBL（課題解決型学習）科目を設置 (3)高度な実践力養成のため、充実した国内外インターンシップ（特別実習）を実施 (4)工学の基礎知識を身につけるため、全専攻に共通した専門基礎科目を設置 (5)工学における学際的な知識を身につけるため、「生産情報システム工学専攻」等の3専攻において複合的・学際的な科目を設置 (6)深い専門性を身につけるため、少人数教育の専門科目や特別研究を設置</p>
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)</p>
<p>(概要) ディプロマ・ポリシーを目標に希望や夢を持って、カリキュラム・ポリシーに基づいた教育課程を進めるよう、専攻科では、高専本科卒業レベル相当の能力を有する次のような人を求める。 (1)幅広い工学に関する基礎知識と主体性を身につけた人 (2)専門工学に関する知識と創造性に富み、実践力を身につけた人 (3)自己啓発・向上能力に富み、技術を通じ社会の発展に寄与できる人 (4)多様な価値観を理解し、学際的な分野で活躍できる人 (5)国際社会で活躍できる広い視野と教養を備えた人</p>

学部等名 応用物質工学専攻
<p>教育研究上の目的</p> <p>(公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/department/advanced-engineering)</p>
<p>(概要)</p> <p>(1)化学技術やバイオテクノロジーの進展に対応しうる知識と技術をもち、これを化成品、材料、食品、医薬品などの開発、製造などに展開する能力を有する実践的技術者の育成</p> <p>(2)基礎的・専門的学力と学際領域にわたる幅広い知識を活用して、環境に配慮したものづくりができる実践的技術者の育成</p> <p>(3)工業生産活動におけるニーズとシーズを的確に捉える能力を持ち、国際性を備えた実践的技術者の育成</p>
<p>卒業の認定に関する方針</p> <p>(公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)</p>
<p>(概要)</p> <p>次のような創造性、多様性、学際性、国際性に富んだ高度な実践的職業技術者の育成を目的とした、専攻科の全課程を修了した人に対し、修了証書を授与する。</p> <p>(1)物事を多面的に考察できる力、社会における技術者の責任を自覚できる高い倫理観、および優れたコミュニケーション能力を備えた高度な技術者</p> <p>(2)工学の基礎知識、工学の専門知識および高度に融合された学際的知識を有し、実践力に富む高度な技術者</p> <p>(3)課題の探究能力に優れ、またその課題を解決する方法を提案できる高度な技術者</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針</p> <p>(公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/curriculum-data https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)</p>
<p>(概要)</p> <p>(1)豊かな教養と多面的な考察力を身につけるため、技術者倫理を含む一般科目を設置</p> <p>(2)優れたコミュニケーション能力を身につけるため、日本語や外国語の科目のほか、その能力を実践的に訓練する分野横断的なPBL（課題解決型学習）科目を設置</p> <p>(3)高度な実践力養成のため、充実した国内外インターンシップ（特別実習）を実施</p> <p>(4)工学の基礎知識を身につけるため、全専攻に共通した専門基礎科目を設置</p> <p>(5)工学における学際的な知識を身につけるため、「生産情報システム工学専攻」等の3専攻において複合的・学際的な科目を設置</p> <p>(6)深い専門性を身につけるため、少人数教育の専門科目や特別研究を設置</p>
<p>入学者の受入れに関する方針</p> <p>(公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)</p>
<p>(概要)</p> <p>ディプロマ・ポリシーを目標に希望や夢を持って、カリキュラム・ポリシーに基づいた教育課程を進めるよう、専攻科では、高専本科卒業レベル相当の能力を有する次のような人を求める。</p> <p>(1)幅広い工学に関する基礎知識と主体性を身につけた人</p> <p>(2)専門工学に関する知識と創造性に富み、実践力を身につけた人</p> <p>(3)自己啓発・向上能力に富み、技術を通じ社会の発展に寄与できる人</p> <p>(4)多様な価値観を理解し、学際的な分野で活躍できる人</p> <p>(5)国際社会で活躍できる広い視野と教養を備えた人</p>

学部等名 建築学専攻
教育研究上の目的 (公表方法： https://www.ariake-nct.ac.jp/department/advanced-engineering)
(概要) (1)計画・環境系あるいは構造・生産系のいずれかに重点を置いた高度な実践的技術を有する人材の育成 (2)建築界における諸問題を捉え、解決に導くための論理的思考能力や実践的技術センスを有する人材の育成 (3)建築分野のみならず、建築分野以外の領域にまたがる課題に対しても対応できる資質を有する人材の育成
卒業の認定に関する方針 (公表方法： https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)
(概要) 次のような創造性、多様性、学際性、国際性に富んだ高度な実践的職業技術者の育成を目的とした、専攻科の全課程を修了した人に対し、修了証書を授与する。 (1)物事を多面的に考察できる力、社会における技術者の責任を自覚できる高い倫理観、および優れたコミュニケーション能力を備えた高度な技術者 (2)工学の基礎知識、工学の専門知識および高度に融合された学際的知識を有し、実践力に富む高度な技術者 (3)課題の探究能力に優れ、またその課題を解決する方法を提案できる高度な技術者
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/curriculum-data https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)
(概要) (1)豊かな教養と多面的な考察力を身につけるため、技術者倫理を含む一般科目を設置 (2)優れたコミュニケーション能力を身につけるため、日本語や外国語の科目のほか、その能力を実践的に訓練する分野横断的なPBL（課題解決型学習）科目を設置 (3)高度な実践力養成のため、充実した国内外インターンシップ（特別実習）を実施 (4)工学の基礎知識を身につけるため、全専攻に共通した専門基礎科目を設置 (5)工学における学際的な知識を身につけるため、「生産情報システム工学専攻」等の3専攻において複合的・学際的な科目を設置 (6)深い専門性を身につけるため、少人数教育の専門科目や特別研究を設置
入学者の受入れに関する方針 (公表方法： https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)
(概要) ディプロマ・ポリシーを目標に希望や夢を持って、カリキュラム・ポリシーに基づいた教育課程を進めるよう、専攻科では、高専本科卒業レベル相当の能力を有する次のような人を求める。 (1)幅広い工学に関する基礎知識と主体性を身につけた人 (2)専門工学に関する知識と創造性に富み、実践力を身につけた人 (3)自己啓発・向上能力に富み、技術を通じ社会の発展に寄与できる人 (4)多様な価値観を理解し、学際的な分野で活躍できる人 (5)国際社会で活躍できる広い視野と教養を備えた人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/history-organization>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	7人	—					7人
創造工学科	—	19人	20人	5人	3人	人	47人
一般教育科	—	8人	9人	3人	3人	人	23人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		20人					20人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)	公表方法： https://research.kosen-k.go.jp/researcher-list/?page=1&limit=30&affiliationId=6696000000						
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
学期ごとに授業改善アンケートを実施し、授業に関する意見・要望を学生から集め、教員の教育改善に努めている。また、研修会・講演会、公開授業を実施することで、教員の教育に関する資質と能力の向上を図っている。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
機械工学科	人	人	%	40人	50人	125%	人	人
電気工学科	人	人	%	40人	36人	90%	人	人
電子情報工学科	人	人	%	40人	45人	112.5%	人	人
物質工学科	人	人	%	40人	32人	80%	人	人
建築学科	人	人	%	40人	42人	105%	人	人
創造工学科	200人	209人	104.5%	800人	853人	106.6%	若干名	15人
生産情報システム工学専攻	12人	20人	166.7%	24人	35人	145.8%	人	人
応用物質工学専攻	4人	7人	175%	8人	14人	175%	人	人
建築学専攻	4人	7人	175%	8人	16人	200%	人	人
合計	220人	243人	110.5%	1,040人	1,123人	108%	若干名	15人
(備考)								
機械工学科、電気工学科、電子情報工学科、物質工学科、建築学科については、平成28年度から募集停止している。そのため、収容定員及び在学生数は5年生分のみ。								
創造工学科については、2020年度が完成年度となる。そのため、収容定員及び在学生数は1～4年生分。								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
機械工学科	40人 (100%)	11人 (27.5%)	27人 (67.5%)	2人 (5%)
電気工学科	40人 (100%)	7人 (17.5%)	32人 (80%)	1人 (2.5%)
電子情報工学科	37人 (100%)	13人 (35.1%)	21人 (56.8%)	3人 (8.1%)
物質工学科	34人 (100%)	9人 (26.5%)	25人 (73.5%)	0人 (0%)
建築学科	40人 (100%)	13人 (32.5%)	26人 (65%)	1人 (2.5%)
創造工学科	0人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
生産情報システム工学専攻	19人 (100%)	6人 (31.6%)	13人 (68.4%)	0人 (0%)
応用物質工学専攻	5人 (100%)	5人 (100%)	0人 (0%)	0人 (0%)
建築学専攻	2人 (100%)	1人 (50%)	1人 (50%)	0人 (0%)
合計	217人 (100%)	65人 (30%)	145人 (66.8%)	7人 (3.2%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 有明高専専攻科、熊本大学、豊橋技術科学大学、九州大学大学院、旭化成㈱、出光興産㈱、九州電力㈱、三井化学㈱、パナソニックシステムソリューションズジャパン㈱				
(備考) 創造工学科は完成年度を迎えていないので、卒業生はいない。				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) 年末頃から、各教科担当教員が Web 上にてシラバスに掲載する事項 (到達目標、ルーブリック、教育方法、授業計画、評価割合) を記入する。全科目入力完了後に内容確認を行い、新年度開始と同時に Web 上で公表する。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
シラバスにて公表している授業内容・方法（講義の内容や課題の有無等）及び評価割合（試験や発表、ポートフォリオ等）に基づき、厳格かつ適正に学習成果を評価し、単位授与を行っている。				
また、本科の卒業については、全課程の修了（一般科目 75 単位以上、専門科目 82 単位以上、計 167 単位以上の単位修得）を要件としており、専攻科の修了の要件は以下のとおりである。				
<ul style="list-style-type: none"> ・学習・教育到達目標を全て達成していること ・専攻科の必修科目を全て修得していること ・専攻科の必修科目と選択科目を併せて 62 単位以上を修得していること ・原則として研究成果を学外に発表すること 				
学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	機械工学科	167 単位		
	電気工学科	167 単位		
	電子情報工学科	167 単位		
	物質工学科	167 単位		
	建築学科	167 単位		
	創造工学科	167 単位		
	生産情報システム 工学専攻	62 単位		
	応用物質工学専攻	62 単位		
	建築学専攻	62 単位		
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法： https://www.ariake-nct.ac.jp/disclosure/educational-info

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
	機械工学科	234,600 円	— 円	— 円	2016年度から募集停止している
	電気工学科		— 円	— 円	
	電子情報工学科		— 円	— 円	
	物質工学科		— 円	— 円	
	建築学科		— 円	— 円	
	創造工学科		84,600 円	90,550 円～ 145,600 円	その他内訳 ・日本スポーツ振興センター負担金：1,550 円 ・学生会入会金：2,000 円 ・教科書代：約 30,000 円

			<ul style="list-style-type: none"> ・教材費等：約 45,000 円 ～90,000 円 ・後援会関係経費：12,000 円 ・寄宿料：8,400 円～9,600 円 (寮生のみ) ・寮生会費：2,000 円 (寮生のみ)
生産情報システム工学専攻		313,700 円	その他内訳 <ul style="list-style-type: none"> ・教科書代：約 30,000 円 ・寄宿料：8,400 円～9,600 円 (寮生のみ) ・寮生会費：2,000 円 (寮生のみ)
応用物質工学専攻			
建築学専攻			

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 「グローバルに活躍できる技術者」の育成を実現するため、国際交流室を中心に海外インターンシップや学生交流などの海外派遣の情報を学生たちに提供、支援することで学生たちのグローバル意識向上や積極性を培っている。 また、海外の大学などからアカデミックインターンシップや学生交流による学生たちを受け入れ、学生のグローバルエンジニアへの意識向上に努めている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 学生サポートセンターとして、キャリア支援室を設置し、各種進路セミナーや進路適正テストなどの進路支援活動を企画、実施することで、低学年のうちから職業観の高揚を図り、学生のキャリア育成を支援している。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 学生サポートセンターとして、学生相談室を設置し、学生からの悩みや心配事などの相談に応じながら、自己の確立、社会性の育成を目標とし多彩な催しを織り込んだ活動を行っている。併せて、月に数回、学校医やカウンセラーに来校いただき、健康相談やカウンセリングを行っている。 また、いじめ防止にかかる基本方針を掲げ、いじめの防止、早期発見、適切な措置に努めている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法： https://www.ariake-nct.ac.jp/disclosure/educational-info
